

国立劇場 — 国立演芸場 — 国立能楽堂 — 国立文楽劇場 — 伝統芸能情報館 —
国立劇場おきなわ — 新国立劇場 — 芸術文化振興基金

PICK UP

東京
国立劇場 (小劇場)

国立劇場では、伝統芸能伝承者の養成事業として、昭和45年に歌舞伎俳優研修を開始しました。以後、歌舞伎音楽の竹本、鳴物、長唄の課程を順次実施し、数多くの修了者を送り出しています。「音の会」(歌舞伎音楽)、「稚魚の会・歌舞伎会合同公演」(歌舞伎俳優)は、国立劇場養成所の研修修了者を含む若手俳優及び演奏家が、日頃の研鑽の成果を発表する場として毎年8月に開催しています。



初代国立劇場さよなら特別公演

国立劇場伝統芸能伝承者養成所 歌舞伎音楽既成者研修発表会

第25回 音の会

8月5日(土)、6日(日) 14時開演(16時35分終演予定)

料金 3,000円 好評販売中

鳴物 汐汲

長唄 秋色種

長唄 越後獅子

藤間勘祖=振付・指導
義経千本桜
みちゆきはつ ねのたび
義太夫 道行初音旅



初代国立劇場さよなら特別公演

国立劇場伝統芸能伝承者養成所 歌舞伎俳優既成者研修発表会

第29回 稚魚の会・歌舞伎会合同公演

8月11日(金・祝)~15日(火) 12時開演(16時30分終演予定)

料金 4,700円 好評販売中

藤間勘祖=振付・指導
くろわさん ぼ ぞう
廓三番叟 長唄囃子連中

竹田出雲・三好松洛・並木千柳=作
中村時蔵=監修・指導
すがわらでんじゅ て ならいかのみ
菅原伝授手習鑑 二幕
市川團蔵=指導
市村橋太郎=指導
吉田社頭車引の場
佐太村賀の祝の場



河竹黙阿弥=作
藤間勘祖=振付・指導
れんじし
連獅子 長唄囃子連中
※協賛：松竹株式会社・
一般社団法人伝統歌舞伎保存会
※折込面の「研修だより」に出演者のコメントを掲載しています。

東京
国立劇場 (大劇場)

国立劇場、国立演芸場、国立能楽堂、国立文楽劇場、新国立劇場、国立劇場おきなわで行っている養成研修を修了し、現在、各ジャンルで活躍する実演家達が一室に会して、それぞれの芸能のエッセンスを繰り広げる特別なプログラムです。



初代国立劇場さよなら特別公演

舞台芸術のあしたへ — 国立劇場 6館研修修了者合同公演 —

8月20日(日) 14時開演(15時45分終演予定)・18時開演(19時45分終演予定)

料金 5,000円 好評販売中

※上演一覧 (出演順ではありません)

- 歌舞伎 『二人三番叟』『元禄花見踊』
- 文楽 『万才』
- 大衆芸能 太神楽と寄席囃子
- 能楽 居囃子『高砂』(14時開演)
- 狂言 『盆山』(和泉流) (18時開演)
- 組踊 『手水の縁』より「忍び逢い」の場面
- オペラ 『椿姫』より「乾杯の歌」の場面
- バレエ 『ロマンス』
- 演劇 朗読劇『ひめゆり』より

※字幕表示がございます。
※本公演には休憩がありません。

大阪
国立文楽劇場

8月邦楽公演

第26回 文楽素浄瑠璃の会

8月19日(土) 13時開演 (16時15分終演予定)

料金 5,000円 (学生 3,500円) 好評販売中

げんべいぬのびきのたき
源平布引滝

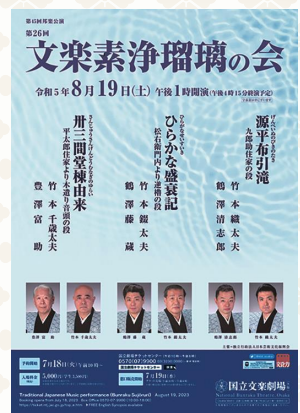
九郎助住家の段
竹本 織太夫
鶴澤 清志郎

ひらかなせいすいき
松右衛門内より逆櫓の段

竹本 鍛太夫
鶴澤 藤蔵

さしうきさんげんどうむなぎのゆらい
卍三間堂棟由来

平太郎住家より木遣り音頭の段
竹本 千歳太夫
豊澤 富助



チケットお申込み

国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場

☎ 0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等] (10時~18時)

国立劇場チケットセンター 検索

新国立劇場

☎ 03-5352-9999 (10時~18時)

新国立劇場 検索

国立劇場おきなわ

☎ 098-871-3350 (10時~17時30分)

国立劇場おきなわチケットカウンター 検索

※学生・障害者等、各種割引あり。詳しくは各劇場にお問合せください。 本誌掲載の公演チケット料金は、すべて税込みです。

東京		大阪	
国立劇場		国立文楽劇場	
8月	国立劇場	8月	国立文楽劇場
	大劇場		文楽劇場
1 火		1 火	
2 水		2 水	
3 木		3 木	
4 金		4 金	
5 土	14:00 声明公演「長谷寺の声明」	5 土	7月22日(土)～8月13日(日) ※8月1日は休演
6 日	14:00 第25回 音の会	6 日	夏休み文楽特別公演 ■第1部 親子劇場(10:30) 「かみなり太鼓」 解説 文楽ってなに？ 「西遊記」 ■第2部 名作劇場(13:30) 「謡い妹背山婦女庭訓」 ■第3部 サマーレイトショー (18:30) 「夏祭浪花鑑」
7 月		7 月	
8 火		8 火	
9 水		9 水	
10 木		10 木	
11 金	14:00 舞踊公演「舞踊名作集Ⅲ 一五十七年を舞い納める」	11 金	13:00 第26回 文楽素浄瑠璃の会
12 土	17:00 第57回 推薦名流舞踊大会	12 土	19:00 第33回 上方歌舞伎会
13 日	12:00 第29回 稚魚の会・歌舞伎会合同公演	13 日	
14 月		14 月	
15 火		15 火	
16 水		16 水	
17 木		17 木	
18 金		18 金	
19 土	14:00 特別企画公演	19 土	13:00 第26回 文楽素浄瑠璃の会
20 日	18:00 「舞台芸術のあしたへ」	20 日	19:00 第33回 上方歌舞伎会
21 月		21 月	
22 火		22 火	
23 水		23 水	
24 木		24 木	
25 金		25 金	
26 土	14:00 第34回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	26 土	13:00 第33回 上方歌舞伎会
27 日	18:00 全国高等学校文化連盟	27 日	
28 月		28 月	
29 火		29 火	
30 水		30 水	
31 木	8・9月文楽公演 8月31日～9月24日 (※詳細は裏表紙参照)	31 木	

東京		大阪	
国立劇場		国立文楽劇場	
8月	国立劇場	8月	国立文楽劇場
	大劇場		文楽劇場
1 火		1 火	
2 水		2 水	
3 木		3 木	
4 金		4 金	
5 土	14:00 声明公演「長谷寺の声明」	5 土	7月22日(土)～8月13日(日) ※8月1日は休演
6 日	14:00 第25回 音の会	6 日	夏休み文楽特別公演 ■第1部 親子劇場(10:30) 「かみなり太鼓」 解説 文楽ってなに？ 「西遊記」 ■第2部 名作劇場(13:30) 「謡い妹背山婦女庭訓」 ■第3部 サマーレイトショー (18:30) 「夏祭浪花鑑」
7 月		7 月	
8 火		8 火	
9 水		9 水	
10 木		10 木	
11 金	14:00 舞踊公演「舞踊名作集Ⅲ 一五十七年を舞い納める」	11 金	13:00 第26回 文楽素浄瑠璃の会
12 土	17:00 第57回 推薦名流舞踊大会	12 土	19:00 第33回 上方歌舞伎会
13 日	12:00 第29回 稚魚の会・歌舞伎会合同公演	13 日	
14 月		14 月	
15 火		15 火	
16 水		16 水	
17 木		17 木	
18 金		18 金	
19 土	14:00 特別企画公演	19 土	13:00 第26回 文楽素浄瑠璃の会
20 日	18:00 「舞台芸術のあしたへ」	20 日	19:00 第33回 上方歌舞伎会
21 月		21 月	
22 火		22 火	
23 水		23 水	
24 木		24 木	
25 金		25 金	
26 土	14:00 第34回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	26 土	13:00 第33回 上方歌舞伎会
27 日	18:00 全国高等学校文化連盟	27 日	
28 月		28 月	
29 火		29 火	
30 水		30 水	
31 木	8・9月文楽公演 8月31日～9月24日 (※詳細は裏表紙参照)	31 木	

東京		大阪	
国立劇場		国立文楽劇場	
8月	国立劇場	8月	国立文楽劇場
	大劇場		文楽劇場
1 火		1 火	
2 水		2 水	
3 木		3 木	
4 金		4 金	
5 土	14:00 声明公演「長谷寺の声明」	5 土	7月22日(土)～8月13日(日) ※8月1日は休演
6 日	14:00 第25回 音の会	6 日	夏休み文楽特別公演 ■第1部 親子劇場(10:30) 「かみなり太鼓」 解説 文楽ってなに？ 「西遊記」 ■第2部 名作劇場(13:30) 「謡い妹背山婦女庭訓」 ■第3部 サマーレイトショー (18:30) 「夏祭浪花鑑」
7 月		7 月	
8 火		8 火	
9 水		9 水	
10 木		10 木	
11 金	14:00 舞踊公演「舞踊名作集Ⅲ 一五十七年を舞い納める」	11 金	13:00 第26回 文楽素浄瑠璃の会
12 土	17:00 第57回 推薦名流舞踊大会	12 土	19:00 第33回 上方歌舞伎会
13 日	12:00 第29回 稚魚の会・歌舞伎会合同公演	13 日	
14 月		14 月	
15 火		15 火	
16 水		16 水	
17 木		17 木	
18 金		18 金	
19 土	14:00 特別企画公演	19 土	13:00 第26回 文楽素浄瑠璃の会
20 日	18:00 「舞台芸術のあしたへ」	20 日	19:00 第33回 上方歌舞伎会
21 月		21 月	
22 火		22 火	
23 水		23 水	
24 木		24 木	
25 金		25 金	
26 土	14:00 第34回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	26 土	13:00 第33回 上方歌舞伎会
27 日	18:00 全国高等学校文化連盟	27 日	
28 月		28 月	
29 火		29 火	
30 水		30 水	
31 木	8・9月文楽公演 8月31日～9月24日 (※詳細は裏表紙参照)	31 木	

東京		大阪	
国立劇場		国立文楽劇場	
8月	国立劇場	8月	国立文楽劇場
	大劇場		文楽劇場
1 火		1 火	
2 水		2 水	
3 木		3 木	
4 金		4 金	
5 土	14:00 声明公演「長谷寺の声明」	5 土	7月22日(土)～8月13日(日) ※8月1日は休演
6 日	14:00 第25回 音の会	6 日	夏休み文楽特別公演 ■第1部 親子劇場(10:30) 「かみなり太鼓」 解説 文楽ってなに？ 「西遊記」 ■第2部 名作劇場(13:30) 「謡い妹背山婦女庭訓」 ■第3部 サマーレイトショー (18:30) 「夏祭浪花鑑」
7 月		7 月	
8 火		8 火	
9 水		9 水	
10 木		10 木	
11 金	14:00 舞踊公演「舞踊名作集Ⅲ 一五十七年を舞い納める」	11 金	13:00 第26回 文楽素浄瑠璃の会
12 土	17:00 第57回 推薦名流舞踊大会	12 土	19:00 第33回 上方歌舞伎会
13 日	12:00 第29回 稚魚の会・歌舞伎会合同公演	13 日	
14 月		14 月	
15 火		15 火	
16 水		16 水	
17 木		17 木	
18 金		18 金	
19 土	14:00 特別企画公演	19 土	13:00 第26回 文楽素浄瑠璃の会
20 日	18:00 「舞台芸術のあしたへ」	20 日	19:00 第33回 上方歌舞伎会
21 月		21 月	
22 火		22 火	
23 水		23 水	
24 木		24 木	
25 金		25 金	
26 土	14:00 第34回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	26 土	13:00 第33回 上方歌舞伎会
27 日	18:00 全国高等学校文化連盟	27 日	
28 月		28 月	
29 火		29 火	
30 水		30 水	
31 木	8・9月文楽公演 8月31日～9月24日 (※詳細は裏表紙参照)	31 木	

東京		大阪	
国立劇場		国立文楽劇場	
8月	国立劇場	8月	国立文楽劇場
	大劇場		文楽劇場
1 火		1 火	
2 水		2 水	
3 木		3 木	
4 金		4 金	
5 土	14:00 声明公演「長谷寺の声明」	5 土	7月22日(土)～8月13日(日) ※8月1日は休演
6 日	14:00 第25回 音の会	6 日	夏休み文楽特別公演 ■第1部 親子劇場(10:30) 「かみなり太鼓」 解説 文楽ってなに？ 「西遊記」 ■第2部 名作劇場(13:30) 「謡い妹背山婦女庭訓」 ■第3部 サマーレイトショー (18:30) 「夏祭浪花鑑」
7 月		7 月	
8 火		8 火	
9 水		9 水	
10 木		10 木	
11 金	14:00 舞踊公演「舞踊名作集Ⅲ 一五十七年を舞い納める」	11 金	13:00 第26回 文楽素浄瑠璃の会
12 土	17:00 第57回 推薦名流舞踊大会	12 土	19:00 第33回 上方歌舞伎会
13 日	12:00 第29回 稚魚の会・歌舞伎会合同公演	13 日	
14 月		14 月	
15 火		15 火	
16 水		16 水	
17 木		17 木	
18 金		18 金	
19 土	14:00 特別企画公演	19 土	13:00 第26回 文楽素浄瑠璃の会
20 日	18:00 「舞台芸術のあしたへ」	20 日	19:00 第33回 上方歌舞伎会
21 月		21 月	
22 火		22 火	
23 水		23 水	
24 木		24 木	
25 金		25 金	
26 土	14:00 第34回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	26 土	13:00 第33回 上方歌舞伎会
27 日	18:00 全国高等学校文化連盟	27 日	
28 月		28 月	
29 火		29 火	
30 水		30 水	
31 木	8・9月文楽公演 8月31日～9月24日 (※詳細は裏表紙参照)	31 木	

好評販売中

国立劇場

舞踊名作集Ⅲ

初代国立劇場さよなら特別公演
舞踊名作集Ⅲ 一五十七年を舞い納める—
8月11日(金・祝)14時開演(16時終演予定) 17時開演(19時20分終演予定)

【14時開演】
清元 大津絵藤娘
長唄 歌右衛門狂乱
鳥獸戯面絵巻

【17時開演】
長唄 鴛鴦娘
義太夫 小鍛冶
一中部 尾上雲飛機帯

料金 10,000円(1等席)・7,000円(2等席)・4,000円(3等席)

好評販売中

国立演芸場

初代国立演芸場さよなら特別公演
第470回 国立名人会
8月27日(日)午後13時開演(16時終演予定)

落語 「反魂香」 三笑亭 可 龍
落語 「臆病源兵衛」 桃月庵 白 酒
講談 「名月若松城」 宝 井 琴
— 仲入り —
落語 「菊弱問答」 春風亭 柳 橋
紙切り 林家 正 楽
落語 「青菜」 柳 亭 市 馬

料金 3,400円

好評販売中

新国立劇場

バレエ バレエ・アステラス 2023
～海外で活躍する日本人バレエダンサーを迎えて世界とつなぐ～
8月5日(土)・6日(日)14時開演

【出演】石原古都 & 吉山シャル ルイ/五十嵐愛梨 & セルジオ・マセロ/刈谷円香 & バクストン・リケッツ/ 栗原ゆう & マイルス・ギリパー/後藤絢美 & 三宅啄未/ジェシカ・シュアン & 山田翔/綱木彩葉 & スカイラー・マクシー・ウェルト/水谷実喜 & ロックラン・モナハン/吉田合々香 & ジョール・ウォルナー/木村優里 & 中家正博/ミラノ・スカラ座バレエ・アカデミー/新国立劇場バレエ研修所

料金(税込) S席 8,800円/S席セット券 16,000円/A席 7,700円/B席 6,600円/C席 4,950円/D席 3,300円/Z席(当日のみ) 1,650円

好評販売中

国立劇場おきなわ

舞踊公演「大城崩」「万歳敵討」
8月26日(土)14時開演

組踊を代表する作者・田里朝直は、劇中に口説形式の曲を用いるなど、玉城朝薫の作品にはなかった新しい要素を取り入れ、後の組踊にも多大な影響を与えました。あわや敵討の犠牲になろうとする我が子のため、必死に命乞いをする母親の深い情愛を描き、敵討の闇に光を照らす崩れ物の傑作大城崩。旅芸人に身をやつし、父の仇を討つ兄弟を描いた仇討ち物の定番作万歳敵討。本公演では、田里の作品の中から「大城崩」と「万歳敵討」を一挙上演いたします。没後250年の節目に、田里が描いた組踊の世界を存分にお楽しみください。

料金 一般3,700円(全席指定)

好評販売中

国立文楽劇場

文楽入門
前期：開催中～9月30日(土)
後期：10月14日(土)～11月26日(日)

文楽の歴史や大夫・三味線・人形の三業について、基本的内容を解説する文楽入門展。前期は「こんなところにこんなものが!」といった、思わず「へえ」と言いたくなるような中心にご紹介します。文楽の世界で捨てずに大切に使い続けられている様々なものをご覧いただき、文楽をより身近に感じていただきます。10時～18時開室、8月休室日：なし ☎06-6212-2531(代)

展示情報

伝統芸能情報館(国立劇場敷地内)

企画展「怪談物のつくりかた 役者の芸と仕掛けの世界」
開催中～8月20日(日)

歌舞伎の怪談物では、生身の人間である役者の芸と様々な仕掛けによって、幽霊や妖怪の超自然的な力が表現されました。本展では、客席からは知れない怪談物のつくりかたの一端を多様な資料を用いお見せします。10時～18時開室、8月休室日：なし ☎03-3265-7061(直)

国立演芸場(1階芸芸資料展示室)

企画展「口絵・挿絵でたどる演芸速記本」
開催中～8月20日(日)

落語や講談などの演芸速記本の多くには口絵・挿絵が添えられています。それらは登場人物の様子を読者に印象付ける一方で、本自体に華やかさを添える役割も持っていました。本展では絵と速記本文との関係、その変遷を見ていきます。10時～17時開室、8月休室日：なし ☎03-3265-7061(直)

国立能楽堂(1階資料展示室)

入門展「能楽入門」
開催中～8月5日(土)

〈能楽鑑賞教室〉等で初めて来場する方でも能楽への理解を深められる入門展を行います。能のいでたち(扮装)に注目し、能の五番立に従って主な登場人物を面、装束、小道具等によって展示します。

【次回開催】第57回演芸祭40周年企画展「楽器名品展」
9月6日(水)～11月17日(金)
11時～17時開室、8月休室日：なし ☎03-3423-1331(代)

国立文楽劇場(1階資料展示室)

入門展「文楽入門」
前期：開催中～9月30日(土)
後期：10月14日(土)～11月26日(日)

文楽の歴史や大夫・三味線・人形の三業について、基本的内容を解説する文楽入門展。前期は「こんなところにこんなものが!」といった、思わず「へえ」と言いたくなるような中心にご紹介します。文楽の世界で捨てずに大切に使い続けられている様々なものをご覧いただき、文楽をより身近に感じていただきます。10時～18時開室、8月休室日：なし ☎06-6212-2531(代)

文化芸術活動に対する援助

独立行政法人日本芸術文化振興会では、芸術文化振興基金の運用益による助成事業と、国からの補助金(文化芸術振興費補助金)を財源とする助成事業及び委託事業を行っています。

◆助成対象活動の募集

助成対象活動の募集は、毎年度1回、公募により行います(国内映画祭等の活動、映画製作への支援については、毎年度2回募集しています)。具体的な募集の時期・方法、助成の対象となる活動等については、毎年度作成する募集案内で示しています。

助成金の交付を希望する団体は、募集案内の定めるところにより、助成金交付要書及び団体概要等を独立行政法人日本芸術文化振興会に提出いただきます。

◆助成対象活動の決定・助成金の交付

芸術文化振興基金運営委員会において応募活動に対する審査を行い、助成対象活動及び助成金の額を決定します。

採択された助成対象活動については、「芸術文化振興基金助成金交付要綱」及び「文化芸術振興費補助金による助成金交付要綱」に定める所定の手続きを経て、助成金が交付されます。

今月のTOPICSはこちら



芸術文化振興基金 ご支援(ご寄附)のお願い



芸術文化振興基金

芸術文化振興基金の概要

文化を通じた社会貢献の気運と、経済活動において文化の果たす役割に対する関心の高まりを背景に、財界関係者、芸術文化関係者有志により「芸術文化振興基金推進委員会」が結成され、資金面での積極的協力が表明されたのを受け、平成2年3月に国立劇場法の一部が改正され、芸術文化振興基金が創設されました。基金の運用益で、文化芸術団体等が行う普及・振興活動を継続的・安定的に支援しています。

芸術文化振興基金による多様な芸術文化活動への安定的・継続的支援を行うことが日本芸術文化振興会の使命だと思っております。芸術文化振興基金の趣旨にご賛同いただき、格段のご協力、ご支援をお願いいたします。



芸術文化振興基金の
ご案内ページはこちら!

お問合せ 基金部企画調査課

TEL 03-3265-6302 (平日10時～18時)

メール kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp

◎令和5年3月に研修を修了した研修生が歌舞伎俳優・能楽師・文楽芸員としての一歩を踏み出しました。



中村梅大
(歌舞伎俳優・中村梅玉門下)



平野史夏
(能楽笛方藤田流・故藤田六郎兵衛師、鹿取希世師、大野誠師、竹市宇郎に師事)



寺澤祐佳里
(能楽小鼓方幸清流・幸正昭師に師事)



鶴澤藤之亮
(文楽三味線方・鶴澤藤蔵門下)



竹本織栄太夫
(文楽太夫・竹本織太夫門下)

十数年前、初めて歌舞伎の門を叩き訪れた国立劇場は研修生としての学舎であり、修了後も幾度も出演させて頂いた職場でもあり、大変思い入れの深い劇場でございました。毎年関係者各位に御協力、御助力頂き開催させて頂いた音の会も、現行の国立小劇場では最後となります。お越し頂くお客様、御指導頂ける先生方、舞台を作り上げてくださる各部署の方々へ、心より感謝申し上げます。

この度「廓三番叟」の太鼓持・「連獅子」の宗論を勉強させて頂くことでも嬉しく思います。私は国立の研修生の時、初めて日本舞踊に出逢い、研修修了後も宗家藤間流にてお稽古をさせて頂いております。若輩者な私ですが舞台での経験が今後の糧となりますよう、日々、稽古に邁進して参ります。皆様と劇場でお会いできることを楽しみにしております。



「音の会」出演者
田中佐次郎
(平成23年3月第14期鳴物研修修了。田中傳左衛門社中)



「合同公演」出演者
中村蝶也
(令和3年3月第24期歌舞伎俳優研修修了。中村歌六門下)

歌舞伎俳優・文楽研修生募集

10月2日より応募受付開始します!

国立劇場伝統芸能伝承者養成所

<https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html>

※詳細はウェブサイトをご参照ください。

◎歌舞伎俳優研修: 国立劇場養成課

☎ 03-3265-7105 (直通)

✉ kokuritsu-boshu@ntj.jac.go.jp

◎文楽研修: 国立文楽劇場養成係

☎ 06-6212-5529 (直通)

✉ bunraku2021@ntj.jac.go.jp



研修だより

独立行政法人日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、歌舞伎、文楽、能楽、大衆芸能、組踊の各分野で研修を行っています。

「音の会」「稚魚の会・歌舞伎会合同公演」出演者からのメッセージ

国立劇場・国立演芸場、伝統芸能情報館は、再整備のため令和5年10月末に一旦閉場・閉館し、令和11年度に新施設として生まれ変わります。

「日本博2.0」は、全国の博物館、美術館、劇場、芸術祭などを訪れその魅力を体感してもらうことにより、『日本の美と心』を国内外に伝える取り組みです。

❖ 初代国立劇場さよなら特別公演のご紹介

8・9月文楽公演 8月31日(木)～9月24日(日)

5月公演に続き、三大名作の一つ『菅原授手習鑑』を完全通し上演。さらにご祝儀演目『寿式三番叟』と、世話物の傑作『曾根崎心中』で、初代国立劇場文楽公演も見納めです。



好評販売中

9月雅楽公演「舞楽」 9月30日(土)

初代国立劇場最後の雅楽公演は宮内庁式部職楽部による舞楽です。稀曲「安摩・二ノ舞」と、国立劇場で復活上演を果たした大曲「新鳥蘇」を一具でご覧いただきます。

電話・インターネット予約開始 8月18日(金)10時

窓口販売開始 8月19日(土)10時

❖ 「初代国立演芸場さよなら記念グッズ 第1弾手ぬぐい」 好評販売中!

国立演芸場の緞帳は、通称「赤富士」として知られる葛飾北斎「富岳三十六景」の内「凱風快晴」をデザインしています。みなさまに親しまれた初代国立演芸場最後の緞帳を鮮やかな手ぬぐいに残しました。国立演芸場のみでお取り扱いいたします。数に限りがありますので、ぜひお早めにお買い求めください。



価格 1,000円(税込)

❖ 「初代国立劇場さよなら記念グッズ ボンボンエール」 好評販売中!

京都の老舗・たち吉でつくられた器と、日本で唯一の金平糖専門店・緑寿庵清水の金平糖をセットにして桐箱に収めた豪華な逸品。器の蓋上面には、国立劇場の紋章をアレンジした華やかな絵柄をあしらいました。お菓子を召し上がった後も、器は小物入れなどとして長くお楽しみいただけます。ご観劇の思い出に、ぜひお買い求めください。



価格 10,000円(税込)

ご寄附のお願い Support Us

あなたも日本の文化芸術を支える(立役者)になりませんか。

文化芸術復興創造基金

日本の多彩な文化芸術団体の活動を支援します。「舞台芸術・美術等」「地域文化」「文化財」「映画芸術」を応援できます。

お問合せ 基金部企画調査課

TEL 03-3265-6302 (平日10時～18時)

メール kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp



ご案内ページはこちら!

くろごちゃんファンド(国立劇場基金)

日本の伝統芸能を未来へつなく、国立劇場各館を応援! 様々な伝統芸能の公演や、伝承者の養成、調査研究等を支援できます。

お問合せ くろごちゃんファンド寄附担当

TEL 03-3265-6719 (平日10時～18時)

メール donation@ntj.jac.go.jp



ご案内ページはこちら!

【数量限定】「継続寄附」手ぬぐいプレゼントキャンペーン!

くろごちゃんファンドでは、「継続寄附」をお申込みいただいた全ての方に、国立劇場オリジナル手ぬぐいをプレゼントしております。キャンペーンは手ぬぐいが無くなり次第終了となります。この機会にぜひお申込みください!



お知らせ News

国立能楽堂は、今年開場40周年を迎えます!



国立能楽堂は、1983年(昭和58年)9月に開場し、今年で開場40周年を迎えます。記念の年にあたり、9月の《開場40周年記念公演》をはじめ、来年3月までの主催公演において、現代の能楽界を代表する演者による能・狂言の名作・大曲・稀曲の数々をご覧いただけます。また、40周年記念行事として、特別公開講座や特別シンポジウムも開催いたします。

《国立能楽堂開場40周年記念公演》

<p>9月6日(水)13時開演</p> <p>能 「翁」 観世 清和(観世流) 野村 萬斎</p> <p>能 「清経 恋の音取」 大槻 文蔵(観世流) 狂言 「栗焼」 野村 万作(和泉流) 能 「山姥 波瀾ノ舞」 金春 安明(金春流)</p>	<p>9月22日(金)17時30分開演</p> <p>◎狂言の会 狂言 末広かり 善竹 十郎(大藏流) 狂言 鬪罪人 三宅 右近(和泉流) 狂言 獅子舞 山本 東次郎(大藏流)</p>
<p>9月9日(土)13時開演</p> <p>能 「枕蓑 前後之習」 金剛 龍謙(金剛流) 狂言 「月見座頭」 大藏 彌右衛門(大藏流) 能 「船弁慶 後之出留之伝・語入・名所教」 宝生 和英(宝生流)</p>	<p>9月30日(土)13時開演</p> <p>能 芭蕉 観世 泰秀(観世流) 狂言 文蔵 茂山 千五郎(大藏流) 能 望月 武田 孝史(宝生流)</p>
<p>9月15日(金)17時30分開演</p> <p>一調一声 「三井寺」 梅若 桜雪・大倉 源次郎 狂言 「萩大名」 野村 萬(和泉流) 能 「白田村」 友枝 昭世(喜多流)</p>	<p>※10月以降の記念公演、特別シンポジウム等については、国立能楽堂40周年記念特設サイトに掲載しております。右記QRコードからご参照ください。【7月末開設予定】</p> <p>国立能楽堂 開場40周年記念キャラクター はんにゃちゃん</p>

お知らせ News

「Discover KABUKI」を各国駐日大使等の皆様にご観劇いただきました!

国立劇場では、6月23日に実施した「Discover KABUKI—外国人のための歌舞伎鑑賞教室—」に各国駐日大使等の皆様をお招きいたしました。この公演は、初めて歌舞伎をご覧いただく外国人の方にも理解しやすい解説と作品の上演を組み合わせたもので、当日は、50名ほどの皆様にご観劇いただきました。終演後のレセプションでは都倉文化庁長官から挨拶があり、和やかにご歓談いただきました。当公演が日本の伝統芸能の魅力をより身近に感じていただける機会になれば嬉しく思います。

